

# 教育委員会定例会議事日程

令和8年3月6日(金) 午前10時00分

## 1 一般報告

横浜教育イノベーション・アカデミア ミライの先生 Fes の報告について

## 2 審議案件

教委第 58 号議案 横浜市立学校条例の一部改正に関する意見の申出について

教委第 59 号議案 審査請求に関する教育長臨時代理について

教委第 60 号議案 教職員の人事について

教委第 61 号議案 教職員の人事について

教委第 62 号議案 教職員の人事について

## 3 報告案件

教委報第 9 号 横浜市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部改正に関する意見の申出に係る臨時代理報告について

## 4 その他

令和8年3月6日

## 教育委員会定例会 一般報告

### 1 市会関係

○2/27 予算第二特別委員会（局別審査）

### 2 市教委関係

#### (1) 主な会議等

○2/26 令和7年度横浜市教育委員会表彰式

○3/3 全国中学校体育大会において優勝した生徒による横浜市長表敬訪問

○3/4 第98回選抜高等学校野球大会に出場する横浜高等学校野球部の選手による  
横浜市長表敬訪問

○3/5 動画「若葉台で広がる新しい学びのカタチ」上映会

#### (2) 報告事項

○横浜教育イノベーション・アカデミア ミライの先生Fesの報告について

### 3 その他

## 横浜教育イノベーション・アカデミア ミライの先生 Fes の報告について

教育の質向上と教職の魅力発信を目的に、令和8年2月13日に横浜赤レンガ倉庫で「ミライの先生 Fes」を開催。会場とオンライン合わせて約600名が参加しました。イベントでは電子黒板やiPad、メタバースなど先端的な教育ツールの体験、現役の教員と学生によるトークセッション、教員採用試験情報の公開など、多角的に「教育の今と未来」に触れることができる企画を展開しました。

参加者の満足度は92%と高く、教員との対話を通じて学生が教職の魅力を実感する機会となりました。また、子どものアイデアをもとに作成した「学びのきっかけ動画」の表彰や、学校・企業・大学の協働を讃える表彰も行いました。さらに、学生スタッフが主体的に運営に関わったことも、成果の一つとして挙げられます。

横浜教育イノベーション・アカデミアは、今後、挑戦や創造を支える環境づくりと発信力の向上を進め、未来の学びの価値創出と教職の魅力向上をさらに加速していきます。

ミライの先生 Fes を語る  
3つのキーワード

新しい学びとの出会い

先生のリアルに触れる対話

子どもたちの可能性

### 1 参加者の内訳

教職員	学生	大学・企業	児童生徒、保護者	その他 事務局関係者等	オンライン 参加	合計
71	139	68	141	117	46	582

### 2 3つの数字で読み解く「ミライの先生 Fes」

	<p><b>92%</b>が本イベント「満足」</p> <p>参加者の92%が「満足」「やや満足」と回答する高い評価を得ました。初のFes形式により、参加者同士の対話や交流が生まれ、横浜の教育や教職への理解が深まったことが、多くの参加者の満足につながりました。</p>
	<p><b>約5万人</b>が視聴</p> <p>子どものアイデアをもとに作成した「学びのきっかけ」動画については、14本の動画に約5万回の視聴があり、市内の児童生徒、保護者、教職員から約2万5千件の「いいね」と、約5千件のコメントやアドバイスが集まりました。</p>
	<p><b>24名</b>の学生スタッフによる主体的なブース運営</p> <p>55の大学等と連携している本市独自の取組を生かし、ブース運営や企画に学生スタッフが主体的に関わりました。来場者との対話や体験の場の設定に学生が“つくり手”として参画することで会場に活気生まれ、教育の魅力や学びの可能性を等身大の視点で伝える貴重な機会となりました。こうした関わりはアカデミアの共創を象徴する取組の一つとなりました。</p>

### 3 未来の学びをつくる挑戦者たちへ — アカデミア表彰 —

#### 公式noteから多様な実践6件とグランプリを発表 ～ベスト・オブ・ヨコエデュ2025表彰～

「ベスト・オブ・ヨコエデュ2025」では、横浜市教育委員会公式noteに掲載された記事の中から、特に反響の大きかった6件を選出し、表彰しました。受賞校は、坂本小学校、霧が丘義務教育学校、若葉台特別支援学校・若葉台小学校・横浜国大 D&I センター、南吉田小学校、桜丘高校、仲尾台中学校の6校です。会場では取組への思いが語られるとともに、投票によるグランプリとして、インクルーシブな合同授業に取り組む『若葉台で広がる新しい学びのカタチ～特別支援学校と小学校の合同授業に密着！』が選ばれました。



「ベスト・オブ・ヨコエデュ 2025」

表彰の様子

#### 産学官連携を加速 55大学・企業・学生と共に子どもの未来を創る ～アカデミア共創アワード表彰～

「アカデミア共創アワード」では、産学官の連携による取組を紹介し、これまでの協力への感謝を伝えました。また、今後も産学官が連携し、教育のさらなる充実を図っていくことを再確認しました。読書支援ツール「Yomokka!」を提供するポプラ社からも特別表彰が行われ、市内で最も本を読んだ学校として鴨志田緑小学校が選ばれました。

#### 子どもが“学びの教材”を創る ～「学びのきっかけ」動画表彰～

子どもたち自身が算数・数学の疑問やつまづきを解決するためのアイデア出し合い作成された 14本の「学びのきっかけ動画」には、約5万回の視聴、約2万5千件の「いいね」が寄せられました。表彰では 14作品に「スクールクリエイター賞」、さらに95件すべてに「チャレンジクリエイト賞」が贈られました。子ども自身が教材をつくる、この新しい学び方への期待も高まっています。



「学びのきっかけ動画」表彰の様子

#### <受賞した子どもの声>

- ・話の流れを短くまとめることで、コンパクトにすっきりさせることができ見やすくなったと思います。学びへの好奇心が上がるような動画になってくれればいいと思って作りました。
- ・今まで学習をやってきてわかった気になっていただけ、教えるには深い理解が必要で、その理解が足りないと教えきれないし、言葉につまってしまうことがあって、そこが難しかったです。

### 4 令和8年度に向けて

一年間の共創を経て、アカデミアは今後、より広い層に届く発信や、誰もが挑戦、創造できる環境づくりを進めていきます。学生の主体性を引き出す仕組みや、大学・企業等との連携も強化する予定です。ミライの先生を育む横浜発の新たな取組が、子どもの学びや成長を支える力へとつながるように取組を加速していきます。